

Penta5n



江戸川区立東葛西小学校
第5学年 第6号
令和7年10月1日(水)
担任 茨木 倫平
島根 葵
菊池 康太

どんな秋にしようかな！？

「秋分の日」を迎え、涼しい気候となり、秋を感じられる季節となりました。草むらからは、スズムシの鳴く声が聞こえてきました。広い校庭での遊びもできる日が増え、休み時間に元気いっぱい遊ぶ児童が増えました。

さて、この季節になると、よく「〇〇の秋」という言葉を耳にします。「食欲の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」など、様々なことに取り組みやすい季節になったということです。子供達は、どんな秋にしたいのか、気になるところです。

例えば、「食欲の秋」に合わせて「給食を残さず食べたり、苦手なものにも挑戦したりする秋」とか「スポーツの秋」に合わせて、「休み時間にたくさん外遊びをしたり、体育科の授業に積極的に取り組んだりする秋」も考えられます。10月12日は「スポーツの日」なので、「その日に運動をする！」もよいでしょう。また、11月の音楽会に向けての練習も始まっています。オーディションを経て自分の楽器が決まり、「正確なリズムで音を出したり、表現の仕方を工夫したりする秋」(芸術の秋)にするのもよいです。子供達一人一人の興味・関心に応じて、変わってくるかと思います。何か一つ自分で決めて取り組むことに意味があると考えます。

ただ漫然と秋を楽しむのもよいですが、せっかくなら自分だけの「〇〇の秋」を決めて、充実した1ヵ月を過ごせるように、担任一同サポートしていきます。ご家庭でのご協力もお願いいたします。



10月の学習予定

国語	・4年生で習った漢字 ・たすねびと ・方言と共通語 ・よりよい学級生活のために	図工	・コロがるくんの旅
書写	・ことば ・文字の大きさ	家庭科	・ミシンにトライ！手作りで楽しい生活
社会	・くらしを支える工業生産 ・自動車をつくる工業	体育	・ハードル走 ・マット運動
算数	・分数の大きさとたし算、ひき算 ・平均 ・奇数と偶数に分けて ・単位量あたりの大きさ	道徳	・わたしとあなたのふつうは違う ・森の絵 ・ルールを守る ・希
理科	・流れる水のはたらきと土地の変化	英語	・Where is the station?
音楽	・情熱大陸 ・地球星歌 ・スペインのカスタネット	総合	・高齢者の生活について ・車いす体験
読書科	・身近な不思議を調べよう		





お知らせとお願い

□家庭学習キャンペーンについて

家庭学習キャンペーンへのご協力ありがとうございました。第2回目の5年生での取組み結果は、1学期の結果と比べると、3パーセントの上昇が見られました。僅かな上昇にとどまり、「宿題を持ってくるのを忘れました。」「やるのを忘れました。」という理由が目立ち、定着に課題が見られます。宿題は、家庭学習の習慣をつける・学習内容の理解を深めるためのものと考えています。

今後も家庭学習に継続して取り組み、習慣となるよう引き続き子供たちへの言葉掛けなどご協力をお願いいたします。

□今年度の水泳指導について

令和7年度の水泳指導が無事に終了しました。5年生の目標である「9級」を達成した児童は47パーセントでした。目標を達成した児童には、認定証を渡しました。水泳カードへの記入や準備のご協力をいただき、ありがとうございました。

10月からは体力向上の取組として、去年の「マッシュカード」に引き続き、校庭遊具や短なわを活用した「大谷カード」に取り組みます。休み時間や体育の時間等にたくさん運動してほしいと思います。

□音楽会の衣装について

音楽会全体の詳細につきましては、後日「音楽会のお知らせ」でお伝えしますが、学年として音楽会で使用する衣装の準備を以下のようにお願いいたします。

上：白シャツ（袖の長さは問いません。）

下：黒ズボン（長ズボン）・黒スカートをご用意ください。

□ウクレレ体験教室について

10月3日（金）から10月22日（水）までに全4回となる、5年生を対象にした「ウクレレ体験教室」を開きます。国際的な視野をもてる児童の育成を目指した取組で、ウクレレの演奏の仕方を教わったり、ハワイのウクレレ工房の方と交流をしたりするなど、外国への興味関心を高めるきっかけにしようと考えています。ぜひご家庭でもお話を聞いていただけると幸いです。

□研究授業について

10月8日（水）に、江戸川区小学校研究会研究授業のため、2組は5時間授業となります。14時45分頃の下校となります。ご了承ください。

□10月の引き落としについて

10月10日（金）が10月の口座引き落とし日です。金額は 7,000円 です。前日までに入金をお願いいたします。

□車いす体験について

10月21日（火）に総合的な学習の時間で、車いす体験をする機会があります。車いすに乗るという実体験を通して、車いすを利用した生活に対する理解を深めていきたいと考えています。ただの体験で終わることなく、そこから学びを深めていけるように支援していきます。

